

助手に関する実態調査報告書

平成 14 年 11 月 13 日

国立大学協会

第 4 常置委員会

第 7 常置委員会

まえがき

－検討の経過－

助手問題に関しては、これまでも国大協でたびたび論じられ、身分の不安定性、職務内容の多岐、名称の不適切などを巡り、地位の明確化並びに待遇改善が要求されてきた。

第7常置委員会では、前委員長の、丹保委員長当時、この問題について検討が行われ、①助手の実際の仕事の種類、②助手制度の問題点、③一つの考え方（助手廃止）についての論点整理が示された。

前任の丹保第7常置委員会委員長からの検討の継続要請を受けて、この助手問題の早急な進展を図るため、第4常置委員会は処遇改善の観点から、また、第7常置委員会は制度の観点から、この問題について共同で検討することとなり、平成13年6月の第108回総会に付議し、その承認を得て、第4常置委員会・第7常置委員会合同作業委員会を発足させ、検討を開始した。

合同作業委員会では、種々論議が重ねられた。その間、助手廃止に関して問題となった点を箇条書きとして示すと、以下のとおりである。

A. 助手廃止に伴い生ずる問題

1. 教育、研究の能力のない者の処遇の問題（数の削減）
2. 教授、助教授にとって教育、研究上の負担の増加（RA、TA、PDの増加による手当が可能か）
3. 助手から講師への振り替えに際し、定員削減が行われる可能性はないか
4. 任期制講師の地位の不安定性
5. 助手を就職までのpoolとしておいている場合、pool制がなくなる不便性はないか
6. 前委員会での意見である講師1/2、助教授1/4、上級技官1/4の妥当性（実態調査の上、給与的に妥当か）。理系・文系の実態の相異
7. 教務職員との関連、上級技官の定義など

B. 助手廃止によるメリット

助手の地位向上、教員としての地位の確保、任期制導入による活性化など

そこで、まずは国立大学の教職員の実態を把握する必要があると認め、第1段階として「助手に関する実態調査」を行うこととし、次いで「助手制度の在り方に関する調査」を行い、助手という身分を含め、どのように処遇するのが最良であるか論ずることとなった。

そして、平成13年11月に「助手問題に関するアンケート調査」を実施し、アンケート調査の集計・整理、そして調査結果の分析などを行ってきた。

その間、国立大学法人化問題が急浮上し、国立大学等の独立行政法人化に関する調査検討会議より、平成13年9月27日『新しい「国立大学法人」像について』の中間報告が、

平成 14 年 3 月 26 日最終報告が公表された。

この最終報告の中に「国立大学における職員の構成は、各大学の実態に即した多様な職種を自由に設定できることとする」と記されていることから、後者の「助手制度の在り方に関する調査」は、暫く凍結することとし、平成 14 年 6 月開催の国立大学協会総会において了承された。しかし、既に全会員大学のご協力を得て行われた「助手に関する実態調査」の結果は、各大学で、法人化するに当たり何らかのお役に立つものと思ひ、分析結果を付記し、全体をまとめて報告することとした。参考となれば幸いである。

なお、本調査の整理、集計、報告書作成に当たり、藤井俊夫^{ふじい としお}専門委員（千葉大学教授）に格別のご苦勞をいただいたことに謝意を表したい。

平成 14 年 9 月 20 日

国立大学協会
第 7 常置委員会委員長
磯 野 可 一

●目 次／助手に関する実態調査報告書

まえがき－検討の経過－

I. 助手に関する実態調査結果	5
1. 分野別教職員分布	6
2. 助手について	8
(1) 年齢分布	
(2) 勤続年数	
(3) 職務内容	
3. 教務職員について	14
(1) 年齢分布	
(2) 勤続年数	
(3) 職務内容	
4. PD研究員について	17
(1) 年齢分布	
(2) 身分の種類	
5. 旧7帝国大学に関する資料	19
II. 実態調査結果の分析	25
1. 助手について	25
(1) 助手の分野別の分野	
(2) 助手の年齢分布	
(3) 助手の勤続年数	
(4) 助手の職務内容	
(5) 助手に関するまとめ	
2. 教務職員について	27
(1) 教務職員の全体数	
(2) 教務職員の年齢分布	
(3) 教務職員の勤続年数	
(4) 職務内容の職務内容	
3. PD研究員について	28
(1) PD研究員の年齢分布	
(2) PD研究員の身分	

委員会名簿

I. 助手に関する実態調査結果

凡 例 (注意事項)

本報告書に記載の学部等の名称は、次のとおりである。

1. 理系とは、理学系、工学系、農学系および理系のその他をさす。
2. 農学系とは、園芸学部、水産学部などを含む。
3. 理系のその他とは、理工学部、自然科学研究科など理系の複合学部などをさす。
4. 医系とは、医学系、歯学系、薬学系、医系のその他および病院をさす。
5. 医学系の中には、医学部の他に、東京医科歯科大学の歯科を含む。
6. 医系のその他は、主として衛生短期大学からなっている。
7. 文系とは、人文系、社会系および文系のその他をさす。
8. 文系のその他とは、人文・社会系など文系の複合学部などをさす。
9. 教育とは、教育学部、教養部、体育・芸術系を含む。

ただし、これらは、必ずしも正確に分類できるわけではない（学部などの名称と実体とが必ずしも同じでない）ため、これらの分類は、あくまでもある程度の目安をさしているものとして理解しておいていただきたい。

また、全体の合計と個別の分布の合計などとの間に数値の誤差があるが、とくに調整はしていない。大体は1%以内にとどまる。ただし、PD研究員については、誤差が大きいですが、これについてもこのまま出しておく。

病院の技官については、いくつかの大学できわめて高い数値が出ている。これは、例えば看護師を含むなど別の基準によるものと考えられる。したがって、病院の技官については、これらの数値の合計はあまり参考にはならないといえる。

1. 分野別教職員分布

学部等ごとの教官数：教授、助教授、講師、助手、教務職員、技官、PD研究員の数

学部等の名称	教授	助教授	講師	助手	教務職員	技官	PD研究員
理学系	1,500 (5)	1,146 (4)	245 (3)	1,049 (8)	22 ()	320 ()	313 ()
工学系	3,791 (53)	3,135 (27)	674 (11)	3,105 (8)	199 ()	1,826 ()	302 ()
農学系	1,636 (39)	1,310 (11)	181 (5)	897 (7)	22 ()	821 ()	183 ()
理系のその他	1,318 (43)	1,089 (43)	126 (3)	1051 (91)	43 ()	233 ()	190 ()
医学系	2,369 (148)	1,878 (125)	939 (56)	3,673 (353)	202 ()	974 (1)	252 ()
歯学系	150 (17)	126 (14)	32 (2)	469 (49)	17 ()	70 ()	14 ()
薬学系	210 (6)	203 (7)	29 (3)	218 (8)	18 ()	36 ()	38 ()
医系のその他	145 ()	115 ()	31 ()	135 ()	0 ()	2 ()	0 ()
病院	104 (3)	290 (16)	1,492 (63)	3,393 (306)	25 ()	5,777 ()	0 ()
人文系	1,450 (7)	1,176 (21)	213 (10)	276 (12)	8 ()	23 ()	162 ()
社会系	1,637 (5)	1,006 (27)	188 (10)	439 (19)	11 ()	15 ()	59 ()
文系のその他	656 (4)	477 (10)	92 (5)	158 (7)	5 ()	27 ()	79 ()
教育	4,340 (3)	3,306 (9)	530 (7)	363 (37)	62 ()	115 ()	41 ()
医・理系センター	1,279 (67)	1,214 (53)	151 (6)	1,687 (93)	88 ()	1,183 ()	694 ()
その他のセンター	503 (23)	524 (15)	104 (1)	223 (11)	16 ()	311 ()	116 ()

* ()内は、任期のあるものを内数で示した。

学部等ごとの教官数：構成比(%)〔主要部分のみ〕

学部等の名称	教授	助教授	講師	助手	教務職員	技官	PD研究員
理学系				6.1			12.8
工学系				18.1			12.4
農学系				5.2			7.5
理系のその他				6.1			7.8
医学系				21.4			10.3
歯学系				2.7			0.6
薬学系				1.3			1.6
医系のその他				0.8			
病院				19.8			
人文系				1.6			6.6
社会系				2.6			2.4
文系のその他				0.9			3.2
教育				2.1			1.7
医・理系センター				9.8			28.4
その他のセンター				1.3			4.7

(100%)

2. 助手について

(1) 年齢分布

学部等の名称	25歳以下	26歳 ～30歳	31歳 ～35歳	36歳 ～40歳	41歳 ～45歳	46歳 ～50歳	51歳 ～55歳	56歳以上
理学系	3 (1)	166(133)	406(354)	257(234)	68 (58)	41 (28)	36 (23)	72 (36)
工学系	33 (6)	740(476)	1,211(847)	479(337)	144 (86)	100 (37)	128 (41)	279(91)
農学系	0 ()	107 (52)	377(258)	244(167)	47 (34)	30 (17)	24 (7)	54 (18)
理系のその他	6 ()	295(196)	450(347)	170(135)	48 (40)	21 (15)	21 (10)	40 (12)
医学系	20 (1)	314 (84)	1,059(549)	1,248(791)	702(498)	172(101)	108 (74)	49 (31)
歯学系	3 ()	30 (17)	157(104)	152(109)	82 (64)	25 (19)	13 (12)	5 (5)
薬学系	5 ()	59 (32)	73 (61)	47 (44)	12 (11)	6 (6)	8 (5)	8 (7)
医系のその他	0 ()	31 (3)	36 (4)	31 ()	15 (2)	10 ()	5 (1)	7 (1)
病 院	5 ()	151 (25)	896(356)	1,516(887)	677(446)	117(100)	26 (16)	13 (5)
人文系	2 ()	67 (25)	124 (47)	62 (23)	21 (7)	7 (2)	0 ()	5 (2)
社会系	57 ()	114(10)	94 (10)	39 (6)	51 (3)	31 ()	29 ()	21 ()
文系のその他	9 ()	37 (12)	61 (27)	32 (12)	9 (4)	1 ()	3 (2)	6 (2)
教 育	2 ()	85 (20)	139 (54)	81 (35)	20 (7)	11 (2)	14 (1)	11 (1)
医・理系センター	1 ()	260(180)	572(462)	398(338)	126(101)	79 (52)	83 (42)	169 (95)
その他のセンター	5 ()	62 (17)	88 (37)	30 (13)	16 (5)	6 (1)	10 (1)	9 (1)

* ()内は、博士号取得者を内数で示した。

年齢分布：構成比(%)

学部等の名称	25歳以下	26歳 ～30歳	31歳 ～35歳	36歳 ～40歳	41歳 ～45歳	46歳 ～50歳	51歳 ～55歳	56歳以上
理学系(100%)	0.3	15.8	38.7	24.5	6.5	4.0	3.4	6.9
工学系	1.1	23.8	39.0	15.4	4.6	3.2	4.1	9.0
農学系	0	11.9	42.0	27.2	5.2	3.3	2.7	6.0
理系のその他	0.6	28.0	42.8	16.2	4.6	2.0	2.0	3.8
医学系	0.5	8.5	28.8	34.0	19.1	4.7	2.9	1.3
歯学系	0.6	6.4	33.5	32.4	17.5	5.3	2.8	1.1
薬学系	2.3	27.0	33.5	21.6	5.5	2.8	3.7	3.7
医系のその他	0	23.0	26.7	23.0	11.1	7.4	3.7	5.2
病院	0.1	4.6	26.4	44.7	20.0	3.4	0.8	0.4
人文系	0.7	24.3	45.0	22.5	7.6	2.5	0	1.8
社会系	13.1	26.0	21.4	8.9	11.6	7.1	6.6	4.8
文系のその他	5.7	23.4	38.6	20.3	5.7	0.6	1.9	3.8
教育	0.6	23.4	38.3	22.3	5.5	3.0	3.9	3.0
医・理系センター	0	15.4	34.0	23.6	7.5	4.9	4.9	10.0
その他のセンター	2.2	27.8	39.5	13.5	7.2	2.7	4.5	4.0

(2) 勤続年数

学部等の名称	3年未満	3年以上	5年以上	10年以上	15年以上	20年以上	25年以上	30年以上
		5年未満	10年未満	15年未満	20年未満	25年未満	30年未満	
理学系	286	167	352	117	42	21	18	47
工学系	1,047	555	832	236	73	74	83	213
農学系	237	159	263	136	18	18	22	32
理系のその他	453	212	234	74	15	17	20	25
医学系	1,776	687	750	216	94	81	38	30
歯学系	122	89	137	68	32	12	6	3
薬学系	79	51	48	20	5	3	4	8
医系のその他	57	24	28	9	8	4	4	1
病院	1,894	613	702	135	27	20	10	2
人文系	156	43	59	19	4	5	1	1
社会系	235	35	54	43	25	15	15	15
文系のその他	81	21	40	10	1	1	0	3
教育	168	66	94	20	2	3	4	5
医・理系センター	595	256	430	154	54	44	52	102
その他のセンター	109	43	37	16	3	4	6	7

勤続年数；構成比(%)

学部等の名称	3年未満	3年以上	5年以上	10年以上	15年以上	20年以上	25年以上	30年以上
		5年未満	10年未満	15年未満	20年未満	25年未満	30年未満	
理学系(100%)	27.3	15.9	33.6	11.2	4.0	2.0	1.7	4.5
工学系	33.7	17.9	26.8	7.6	2.4	2.4	2.7	6.9
農学系	26.4	17.7	29.3	15.2	2.0	2.0	2.5	3.6
理系のその他	43.1	20.2	22.3	7.0	1.4	1.6	2.0	2.4
医学系	48.4	18.7	20.4	5.9	2.6	2.2	1.0	0.8
歯学系	26.0	21.1	29.2	14.5	6.8	2.6	1.3	0.6
薬学系	36.2	23.4	22.0	9.2	2.3	1.4	1.8	3.7
医系のその他	42.2	17.8	20.7	6.7	6.0	3.0	3.0	1.0
病院	55.8	18.1	20.7	4.0	0.8	0.6	0.3	0
人文系	56.5	15.6	21.4	6.9	1.4	1.8	0.4	0.4
社会系	53.5	8.0	12.3	9.8	5.7	3.4	3.4	3.4
文系のその他	51.3	13.3	25.3	6.3	0.6	0.6	0	1.9
教育	46.3	18.2	25.9	5.5	0.5	0.8	1.0	1.4
医・理系センター	35.3	15.1	25.5	9.1	3.2	2.6	3.1	6.0
その他のセンター	48.9	19.3	16.6	7.2	1.3	1.8	2.6	3.1

(3) 職務内容

学部等の名称	講義、実習、実験など教育的業務を主とするもの	研究を主たる業務とするもの	研究および教育をともに業務とするもの	医系の助手（基礎配置）	医系の助手（臨床配置）	装置保守など技官的業務を主とするもの	研究室受付など秘書的な役割を主とするもの	その他（研修医）
理学系	4	63	969			9	4	
工学系	223	145	2,728			9	5	2
農学系	19	30	826			1		9
理系のその他	7	37	1,006	1				
医学系	76	78	351	1,325	1,842	1	9	(118)
歯学系				114	354	1		
薬学系	31	26	161					
医系のその他	33	7	80	1	14			
病院				57	3,335			11(3,798)
人文系	6	37	218			3	10	8
社会系	88	94	145			27	36	33
文系のその他	13	22	115			3	4	
教育	51	40	264			4		4
医・理系センター	7	512	1,056	34	45	13	1	14(19)
その他のセンター	25	44	131			13	2	9

* 空白は、0をさす。

職務内容：構成比(%)

学部等の名称	講義、実験などの教育的業務を主とするもの	研究を主たる業務とするもの	研究および教育をともに業務とするもの	医系の助手（基礎配置）	医系の助手（臨床配置）	装置保守など技官的な業務を主とするもの	研究室受付など秘書的な役割を主とするもの	その他
理学系(100%)	0.6	6.0	92.4			0.9	0.4	
工学系	7.2	4.7	87.9			0.3	0.2	0.1
農学系	2.1	3.3	92.0			0.1		1.0
理系のその他	0.7	3.5	96.0	0.1				
医学系	2.1	2.1	9.6	36.1	50.1	0.1	0.2	
歯学系				24.3	75.5	0.2		
薬学系	14.0	12.0	73.9					
医系のその他	24.4	5.2	59.3	0.7	10.4			
病院				1.6	98.3			0.3
人文系	2.2	13.4	79.0			1.1	3.6	2.9
社会系	20.0	21.4	33.0			6.2	8.2	7.5
文系のその他	8.2	13.9	72.8			1.9	2.5	
教育	14.0	11.0	72.7			1.1		1.1
医・理系センター	0.4	30.3	62.6	2.0	2.7	0.8		0.8
その他のセンター	11.2	19.7	58.7			5.8	0.9	4.0

* 空白は、0をさす。

3. 教務職員について

(1) 年齢分布

学部等の名称	25歳以下	26歳 ～30歳	31歳 ～35歳	36歳 ～40歳	41歳 ～45歳	46歳 ～50歳	51歳 ～55歳	56歳以上
理学系	2 ()	6 ()	1 ()	4 ()	1 ()	2 ()	6 (1)	()
工学系	2 ()	32 (3)	34 (11)	24 (3)	14 (1)	24 (2)	26 (2)	44 ()
農学系	()	1 ()	3 (1)	6 (3)	2 (1)	4 ()	3 (1)	2 ()
理系のその他	4 ()	12 (6)	8 (4)	3 (2)	6 (2)	5 (1)	2 ()	3 ()
医学系	10 ()	35 (6)	29 (3)	26 (5)	32 (5)	31 (6)	25 (8)	11 (1)
歯学系	1 ()	()	3 ()	4 (1)	7 (3)	1 ()	1 ()	()
薬学系	()	6 (1)	()	3 (2)	2 (1)	4 (1)	1 ()	2 ()
医系のその他	()	()	()	()	()	()	()	()
病院	3 ()	5 (1)	8 (3)	4 (3)	1 ()	1 ()	2 ()	1 ()
人文系	()	()	()	2 ()	2 (1)	()	2 ()	2 ()
社会系	()	4 ()	2 ()	3 ()	1 ()	1 ()	()	()
文系のその他	()	()	1 ()	1 ()	1 ()	()	1 ()	2 ()
教育	3 ()	12 ()	4 ()	5 (1)	9 (1)	13 ()	10 ()	3 ()
医・理系センター	1 (1)	12 (4)	15 (5)	9 (2)	14 (4)	8 (2)	15 (3)	13 (2)
その他のセンター	()	()	3 ()	2 ()	1 ()	3 ()	4 (1)	2 ()

* ()内は、博士号取得者を内数で示した。

** 空白は、0をさす。

(2) 勤続年数

学部等の名称	3年未満	3年以上	5年以上	10年以上	15年以上	20年以上	25年以上	30年以上
		5年未満	10年未満	15年未満	20年未満	25年未満	30年未満	
理学系	3	3	4	7	3		1	1
工学系	38	9	31	22	12	19	27	41
農学系	1	3	6	5	1	2	1	2
理系のその他	19	5	6	3	4	1	2	3
医学系	50	13	31	22	28	25	25	9
歯学系	1	2	4	2	5	3		
薬学系	4	3	1	5	1	2	1	1
医系のその他								
病院	20	1	1		1		1	1
人文系		1	2	3		2		
社会系	2	1	6	1		1		
文系のその他	3				1	1		1
教育	10	4	8	6	5	14	8	4
医・理系センター	17	5	11	8	15	9	13	7
その他のセンター	2	1	1	2	1	1	4	3

* 空白は、0をさす。

(3) 職務内容

学部等の名称	実験・実習に関する教育補助的な業務	実験など研究補助的な業務	装置保守など技官的な業務	研究室受付など秘密的な業務	事務補助的な業務	その他
理学系	10	8	2		2	1
工学系	98	77	12	6	4	7
農学系	16	3	1			2
理系のその他	14	26		1	2	
医学系	140	41	12	3	4	11
歯学系	15	2				
薬学系	16	1	1			
医系のその他						
病院		2				23
人文系	2	4		2		
社会系	1		3	2	4	1
文系のその他	5			1		
教育	41	4	3		7	
医・理系センター	18	59	5	1	1	1
その他のセンター	6	2	5		2	

* 空白は、0をさす。

4. PD研究員について

(1) 年齢分布

学部等の名称	25歳以下	26歳 ～30歳	31歳 ～35歳	36歳 ～40歳	41歳 ～45歳	46歳 ～50歳	51歳 ～55歳	56歳以上
理学系	1 ()	190(182)	107(106)	12 (11)	2 (1)	1 (1)	()	()
工学系	17 (14)	153(129)	93 (88)	28 (26)	()	1 (1)	()	1 (1)
農学系	()	104(103)	68 (63)	8 (7)	()	()	()	()
理系のその他	41 (40)	91 (89)	51 (47)	9 (9)	1 (1)	()	()	()
医学系	2 ()	80 (63)	129(114)	42 (39)	3 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
歯学系	()	6 (5)	7 (7)	1 (1)	()	()	()	()
薬学系	()	26 (24)	5 (5)	5 (5)	2 (2)	()	()	()
医系のその他	()	()	()	()	()	()	()	()
病 院	()	()	()	()	()	()	()	()
人文系	()	57 (35)	96 (67)	7 (5)	()	1 (1)	1 (1)	()
社会系	()	26 (9)	31 (18)	2 (1)	()	()	()	()
文系のその他	1 ()	24 (13)	54 (29)	()	()	()	()	()
教 育	()	19 (12)	22 (15)	1 (1)	()	()	()	()
医・理系センター	18 (12)	316(292)	314(300)	37 (37)	7 (6)	2 (2)	2 (1)	()
その他のセンター	1 (1)	41 (37)	82 (66)	3 (3)	()	()	()	()

* ()内は、博士号取得者を内数で示した。

** 空白は、0をさす。

(2) 身分の種類

学部等の名称	日本学術振興会 特別研究員 (PD)	COE研究員	科研費・科学技術振興事業団 ・NEDO等の研究プロジェクト で雇用された研究員	その他
理学系	216	38	51	8
工学系	140	58	52	44
農学系	132	14	24	
理系のその他	134	33	28	8
医学系	156	8	78	18
歯学系	13		1	
薬学系	21	2	13	2
医系のその他				
病院				
人文系	136	7	17	2
社会系	48	6	5	
文系のその他	71	3	3	2
教育	41		1	
医・理系センター	256	248	93	115
その他のセンター	30	31	2	64

* 空白は、0をさす。

5. 旧7帝国大学に関する資料

(1) 旧7帝大の教官数：教授、助教授、講師、助手、教務職員、技官、PD研究員の数

学部等の名称	教授	助教授	講師	助手	教務職員	技官	PD研究員
理学系	610 (1)	517 ()	72 ()	638 ()	5 ()	205 ()	260
工学系	967 (48)	824 (3)	173 ()	1,248 ()	54 ()	526 ()	218
農学系	432 (38)	402 (2)	39 (2)	432 (7)	17 ()	301 ()	144
理系のその他	436 ()	362 ()	39 ()	312 (35)	7 ()	40 ()	72
医学系	470 (27)	415 (9)	189 (3)	704 (12)	15 ()	148 ()	174
歯学系	78 ()	62 ()	24 ()	225 ()	0 ()	25 ()	11
薬学系	97 ()	94 ()	17 ()	122 ()	13 ()	21 ()	21
医系のその他	70 ()	64 ()	9 ()	58 ()	0 ()	0 ()	0
病院	15 ()	64 ()	357 ()	1,050 ()	82 (25)	1,807 ()	0
人文系	483 ()	351 ()	38 ()	182 ()	7 ()	16 ()	149
社会系	469 (1)	228 (2)	27 (1)	186 (6)	2 ()	1 ()	41
文系のその他	270 (1)	176 (3)	8 ()	96 (6)	0 ()	20 ()	76
教育	175 ()	146 ()	14 ()	58 ()	0 ()	5 ()	10
医・理系センター	857 (50)	757 (32)	83 (6)	1,260 (63)	59 ()	877 ()	582
その他のセンター	204 (8)	188 (4)	19 ()	134 (1)	2 ()	109 ()	37

* ()内は、任期のあるものを内数で示した。

(2) 旧7帝大の教官数：全大学に対する百分比（主要事項のみ）

学部等の名称	教授	助教授	講師	助手	教務職員	技官	PD研究員
理学系	40.7			60.8		64.1	83.1
工学系	25.5			40.2		29.0	72.2
農学系	26.4			48.2		36.7	78.7
理系のその他	33.1			30.0		17.2	37.9
医学系	19.8			19.2		15.2	69.0
歯学系	52.0			48.0		35.7	78.6
薬学系	46.2			56.0		58.3	55.3
医系のその他	48.3			43.0			
病院	14.4			31.0			
人文系	33.3			66.0		69.6	92.0
社会系	28.6			42.4		6.7	69.5
文系のその他	41.2			61.0		74.1	96.2
教育	4.0			16.0		4.3	24.4
医・理系センター	67.0			75.0		74.1	83.9
その他のセンター	40.6			60.1		35.0	31.9

(3) 助手全体の年齢分布(旧7帝大)

学部等の名称	25歳以下	26歳	31歳	36歳	41歳	46歳	51歳	56歳以上
		～30歳	～35歳	～40歳	～45歳	～50歳	～55歳	
理学系	3	105	242	101	43	26	19	39
工学系	12	273	467	177	52	43	65	166
農学系	0	58	160	123	28	16	12	35
理系のその他	4	100	115	44	9	7	9	24
医学系	0	44	188	244	160	41	14	13
歯学系	0	7	52	74	62	16	10	4
薬学系	1	39	45	20	8	4	2	3
医系のその他	0	11	11	16	5	6	2	7
病院	4	27	209	480	268	45	17	10
人文系	1	44	85	39	15	4	0	4
社会系	23	74	41	14	9	12	7	4
文系のその他	1	20	36	24	7	1	2	5
教育	0	17	18	15	5	0	1	2
医・理系センター	1	195	440	291	85	52	51	145
その他のセンター	0	41	57	22	6	2	5	4

(4) 助手全体の年齢分布(旧7帝大): 全大学に対する百分比

学部等の名称	25歳以下	26歳 ～30歳	31歳 ～35歳	36歳 ～40歳	41歳 ～45歳	46歳 ～50歳	51歳 ～55歳	56歳以上
理学系	100.0	63.3	59.6	39.3	63.2	63.4	52.8	54.2
工学系	36.4	36.9	38.6	37.0	36.1	43.0	50.8	59.5
農学系	0	54.2	42.4	50.4	59.6	53.3	50.0	64.8
理系のその他	66.7	33.9	25.6	25.9	18.8	33.3	42.9	60.0
医学系	0	14	17.8	19.6	22.8	23.8	13.0	26.5
歯学系	0	23.3	33.1	48.7	75.6	64.0	76.9	80.0
薬学系	20.0	66.1	61.6	42.6	66.7	66.7	25.0	37.5
医系のその他	0	35.5	30.6	51.6	33.3	60.0	40.0	100.0
病院	80.0	17.9	23.3	31.7	39.6	38.5	65.4	77.0
人文系	50.0	65.7	68.5	63.0	71.4	57.1	0	80.0
社会系	40.3	65.0	43.6	35.9	17.6	38.7	24.1	19.0
文系のその他	11.1	54.0	59.0	75.0	77.8	100.0	66.7	83.3
教育	0	20.0	12.9	18.5	25.0	0	7.1	18.2
医・理系センター	100.0	75.0	76.9	73.1	67.5	65.8	61.4	85.8
その他のセンター	0	66.1	64.8	73.3	37.5	33.3	50.0	44.4

(5) PD研究員の身分(旧7帝大)

学部等の名称	日本学術振興会 特別研究員 (PD)	COE研究員	科研費・科学技術振興事業団 ・NEDO等の研究プロジェクト で雇用された研究員	その他
理学系	180	36	36	8
工学系	99	57	30	32
農学系	96	14	24	
理系のその他	62	4	5	1
医学系	111	8	42	13
歯学系	10		1	
薬学系	13	2	5	1
医系のその他				
病院				
人文系	125	5	17	2
社会系	33	6	2	
文系のその他	68	3	3	2
教育	10			
医・理系センター	225	221	72	65
その他のセンター	26	11	1	10

* 空白は、0をさす。

(6) PD研究員の身分(旧7帝大): 全大学に対する百分比

学部等の名称	日本学術振興会 特別研究員 (PD)	COE研究員	科研費・科学技術振興事業団 ・NEDO等の研究プロジェクト で雇用された研究員	その他
理学系	83.3	94.7	70.6	100.0
工学系	70.7	98.3	57.7	72.7
農学系	72.7	100.0	100.0	
理系のその他	46.3	12.1	17.9	12.5
医学系	71.2	100.0	53.8	72.2
歯学系	76.9		100.0	
薬学系	61.9	100.0	38.5	50.0
医系のその他				
病院				
人文系	92.0	71.4	100.0	100.0
社会系	68.8	100.0	40.0	
文系のその他	95.8	100.0	100.0	100.0
教育	24.4			
医・理系センター	87.9	89.1	77.4	56.5
その他のセンター	86.7	35.5	50.0	15.6

* 空白は、0をさす。

Ⅱ. 実態調査結果の分析

1. 助手について

(1) 助手の分野別の分布

助手の数がとくに多い分野は、工学系 (18.1%)、医学系 (21.4%) および病院 (19.8%) で、それぞれ 20%前後である。

理系は、全体でおよそ 35.5%である。

医系は、全体でおよそ 46%である。

文系は、全体でおよそ 7.2%である。

医・理系の研究所・センター等は、全体でおよそ 9.8%である。

その他の研究所・センター等は、全体でおよそ 1.3%である。

こうしてみると、理系および医系の学部・大学院等で全体のおよそ 81.5%になる。

これに、医・理系の研究所・センター等を合わせると、およそ 91.3%になる。

結局、医・理系が、全体でおよそ 90%以上を占める。

また、助教授・講師の数と、助手の数との対比をした場合、理系全般、薬学系および医系のその他は、ほぼ同数に近いが、医学系、歯学系および病院は、助手の数の方がはるかに多い。

なお、旧 7 帝大の全国立大学に対する百分比で見ると、医・理系センターの 75%をはじめとして、人文系、文系のその他、理学系、その他のセンターが 60%台となっている。このほか、40%および 50%台のものも多い。

(2) 助手の年齢分布

年齢分布が高いのは、どの分野についても基本的には 26 歳～40 歳である。

そして、より詳細に見ると、

理学、工学、農学、理系のその他など、理系についてはすべて、年齢構成のピークは、31 歳～35 歳にある。

ただし、10 歳単位で見ると、理学系および農学系は、31 歳～40 歳がピークであり、工学系および理系のその他は、26 歳～35 歳がピークである。

医系の中でも、薬学系、歯学系および医系のその他は、年齢構成のピークは、31 歳～35 歳にある。

ただし、医系の中でも、医学系および病院は、むしろ年齢構成のピークが 36 歳～40 歳にある。また、歯学系もこの年齢層の割合は高い。

また、10 歳単位で見ると、医学系および病院は、31 歳～40 歳がピークであり、薬学系

は、26歳～35歳がピークである。

要するに、医系および理系の中でも、医学・歯学系および病院の助手の年齢層のピークがやや高いという特徴がある。

なお、このほか、理系の学部等および医・理系のセンター等においては、56歳以上の助手の数の割合が比較的多い（46歳～55歳の人数とほぼ同じか、それよりやや多い）ということが指摘できる。

46歳以上の助手について見ると、工学系、医学系および医・理系センターについて、絶対数が多い。これに比べると、病院については高年齢の部分で絶対数がやや少ない。

また、社会系については、絶対数は少ないものの、46歳以上の助手が占める割合は、工学系および医・理系センターと同様に、高い。

25歳以下の助手について見ると、社会系においては、絶対数が多いだけでなく、その割合も、他と比べてかなり高い（13.1%）。

なお、博士号の取得者については、博士号の取得率が低いことから予想される通り、文系の助手の方が低くなっている。

（3） 助手の勤続年数

勤続年数の分布状況は、ある程度、上の（2）の年齢分布に対応しているといえる。

この表では、全般に、大多数の助手が10年未満ないしは15年未満の分布の中に入っているが、上の（2）の年齢分布の高いところが多い系では、当然のことながら、勤続年数が長い者の割合が多いことになる。

やや特徴的なことは、上の（2）で述べたように医学系および病院の年齢構成のピークが他と比べて高いにもかかわらず、逆に、3年未満の割合がかなり高いことである。これは、一部の大学において、医学系および病院における任期制の採用の影響があるのかもしれない。また、おそらく助手として採用される時点での年齢が、他と比較して高いところにあることをさしている。

このほか、文系は、全般に3年未満の割合が高い。

なお、全般に、10年未満ないし10年～15年の割合がかなり高い（とくに、理系が高い）のは、助手の地位が5年程度では終わらないことを示すものであり、助手の処遇を考える上ではやはり重要であるといえる。

（4） 助手の職務内容

全般に「研究・教育」の割合が高いため、このデータからは、あまり系の分類による特色をつかむことはできなかったが、いくつかの点を指摘しておく。

理系については、ほとんどが「研究・教育」となっている。

病院では、臨床系がほとんどであるが、医学系においては、臨床系、基礎系のほか、「研究・教育」がある程度の割合（10%弱）を占めている。

薬学系、人文系、社会系、文系その他、教育その他、医・理系センターおよびその他のセンターにおいては、およそ7割前後を「研究・教育」が占めているが、単なる「教育」、「研究」も一定程度を占めている（20～30％）。

医・理系センターおよびその他のセンターでは、当然のことながら「研究」が一定程度の割合を占めている。

社会系は、「教育」、「研究」の割合が高いほか、「装置保守」、「受付秘書」なども一定の割合をもち、職務内容の多様性が見られるという特徴をもつ。

（5） 助手に関するまとめ

とりあえず、いくつかの特徴的な点がまとめられる。

数の上では、理系および医系の助手がほぼ9割を占めている。その意味では、数の上では、助手問題は基本的にはむしろ医・理系の問題であるといってもよいかもしれない。

また、分野によっては、旧7帝大のもつ割合がきわめて高いところもある。

医学系および病院については、31歳～40歳という比較的高い年齢構成のピークで、かつ、3年～5年という短期勤続年数の割合が多い。

理系の助手については、25歳～35歳という年齢構成をピークとして、やや低いのが、勤続年数はやや長く、全体としては10年未満までの割合も少なくない。

社会系では、比較的低い年齢からの任用が多だけでなく、「研究」のための任用の割合も相対的に高い。これは、就職までの「つなぎ」の研究期間として人文・社会系の助手ポストが利用されているといわれることにある程度は対応しているのかもしれない。また、この社会系では受付秘書なども含め勤務内容に多様性がある。

一般的には、助手の分布は、30歳台・10年未満の勤務期間が多いというように若手中心の分布状態となっており、高年齢者層の絶対数は少なくなっているものと思われるが、理系においては50歳代で勤続年数の長い助手の絶対数は無視できるほど少ないとはいえない。

また、41歳以上の助手の絶対数についていえば、工学系、医学系、病院および医・理系センターがかなり多い。その他の医系および理系でも、相当数いる。これは、助手の処遇の問題を考える上で大きなポイントとなるものと思われる。

これらの点を見ると、助手の地位および待遇の改善の必要があるという点では共通性があるとしても、改善のための具体策については、ある程度は分野別に分けて考える必要がある。国立大学協会として共通に対応すべきとの意見もあり、今後、法人化の推移を見守った上で、これに関して各国立大学の意見を聴取する必要があると思われる。

2. 教務職員について

（1） 教務職員の全体数

助手（約17,000人）に比べると教務職員の絶対数は少ない（700人強）。

この中で、工学系および医学系がそれぞれ 200 人前後、医・理系センターが約 90 人、教育その他が 60 人、理系のその他が 40 人であり、あとはそれほど多くはない。

(2) 教務職員の年齢分布

26～35 歳がピークではあるが、ほぼすべての年齢に同じように分布している。

また、工学系、医学系、理系その他および医・理系センターでは、博士号を有する者がどの年齢層にも一定程度分布している。

(3) 教務職員の勤続年数

3 年（5 年）未満が 3 割前後を占めるが、それ以外にもほぼ同じように分布している。

以上のことからすると、助手とは異なり、教務職員は、とくに若年者のためのものとして運用されてきてはいなかったことがわかる。

(4) 教務職員の職務内容

全体として教育補助あるいは研究補助が大多数を占める。その中でも、工学系ではこれらの両者が半分ずつを占め、医学系および教育では教育補助が大多数を占め、逆に、医・理系センターでは研究補助が大多数を占めている。

3. PD 研究員について

(1) PD 研究員の年齢分布

PD 研究員の年齢分布は、ほとんどが 26～35 歳である。また、博士号の取得率もきわめて高い。

(2) PD 研究員の身分

身分は、日本学術振興会特別研究員が大多数を占める。ただし、医・理系センターについては、COE 研究員、科研費、その他の数も多い。

また、分野によって落差はあるが、全般的にみて旧 7 帝大の占有率がきわめて高い。

委員会名簿

(H. 14. 10. 25 現在)

☆印は合同作業委員会座長

◎印は合同作業委員会委員

○印は合同作業委員会専門委員

[第4常置委員会]

委員長	◎隆	島	史	夫	(東京水産大学長)	
委員		富	田	房	男	(北海道大学教授)
〃		鈴	木	直	義	(帯広畜産大学長)
〃		平	山	健	一	(岩手大学長)
〃		兵	藤		釗	(埼玉大学長)
〃		服	部		賢	(長岡技術科学大学長)
〃		又	坂	常	人	(信州大学教授)
〃		田	原	賢	一	(愛知教育大学長)
〃		矢	谷	隆	一	(三重大学長)
〃		村	田	隆	紀	(京都教育大学長)
〃		川	本	謙	一	(島根大学教授)
〃	◎	下	山		誠	(島根医科大学長)
〃		近	藤	浩	二	(香川大学長)
〃		松	尾	祐	作	(福岡教育大学長)
〃		中	山		巖	(大分医科大学長)
専門委員		中	沢	正	治	(東京大学教授)
〃		齋	藤	彬	夫	(東京工業大学教授)
〃		大	熊	良	一	(東京大学総務部長)

[第7常置委員]

委員長	☆磯	野	可	一	(千葉大学長)	
委員		村	山	紀	昭	(北海道教育大学長)
〃		白	井	嘉	一	(福島大学長)
〃		梶	谷		誠	(電気通信大学長)
〃		小	平	桂	一	(総合研究大学院大学長)
〃		黒	木	登	志夫	(岐阜大学長)
〃	◎	山	下	廣	順	(名古屋大学教授)
〃		柳	田	博	明	(名古屋工業大学長)
〃		木	村	光	佑	(京都工芸繊維大学長)
〃		原			潔	(神戸商船大学長)
〃		松	村	昌	信	(広島大学教授)
〃		溝	上		泰	(鳴門教育大学長)
〃		中	野	仁	雄	(九州大学副学長)
〃		宮	里	達	郎	(九州工業大学長)
〃		齋	藤		寛	(長崎大学長)
専門委員	○	藤	井	俊	夫	(千葉大学教授)
〃	○	佐	藤	政	夫	(千葉大学事務局長)

前合同作業委員会委員

海妻 矩彦 (岩手大学長) (平成14年6月4日まで)

池田 高良 (長崎大学長) (平成14年10月10日まで)